



熊本県宇土市にて、『さぼ UTO』(母子モ)からの妊娠届申請率が 95%超！ ～妊娠届のデジタル化を通じて、保護者と行政の負担軽減へ～

熊本県宇土市(以下、宇土市)と母子モ株式会社(以下、母子モ)は、母子モが運営する自治体の子育て関連事業のデジタル化支援サービス『子育てDX[®]1』の提供を2023年5月から開始し、妊娠届をはじめとした各種届出書や申請書、アンケートの提出、子育て関連事業のオンライン予約などにアプリを用いることで、保護者や自治体職員の負担軽減を図っています。

今回、『さぼ UTO』(『母子モ^{※2}』)から妊娠届を申請する割合を調査した結果、サービス導入後から継続的に95%以上となり、多くの妊婦に利用されていることがわかりました。



1. 妊娠届の申請をオンライン化し、妊婦や自治体職員の負担を軽減！

宇土市では、デジタルを活用した子育て支援策として2020年9月から母子手帳アプリ『母子モ』を、『さぼ UTO』として導入しています。さらに2023年5月からは、妊娠届をはじめとした各種届出書やアンケートの提出がアプリから可能となる『子育てDX』の「質問票サービス」や、子育て関連事業がアプリから予約できる「オンライン予約サービス」を提供し、子育て世帯の利便性向上を推進しています。

今回、妊娠届の申請方法について調査した結果、「質問票サービス」を利用して『さぼ UTO』から妊娠届を申請している割合は、2023年6月から2025年12月の期間で継続的に95%を超える申請率であることがわかりました。

従来であれば、利用者は事前に母子手帳交付の予約電話を行った上で、交付当日に妊娠届書の受取や妊婦問診票を記入する必要がありましたが、アプリによる事前申請により、自身の都合の良いタイミングで手続きできるほか、母子手帳交付時の書類記入の手間も軽減されています。自治体側では、面談前に申請内容を確認できるようになったことで、より個人に寄り添った事前準備が可能となり、面談の質向上につながっています。さらに、申請内容がデータ化されることで手続き後のシステム入力業務が減り、業務効率化も進んでいます。

宇土市と母子モは、今後も、子育て世帯のさらなる利便性の向上と、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指していきます。

2. 妊娠届の電子申請実績と成果

【電子申請の実績数値】調査期間：①2023年6月1日～2024年3月31日/②2024年4月1日～2025年3月31日/③2025年4月1日～12月31日

●『さぼ UTO』からの申請率：①95.6%/②96.8%/③96.4%

調査方法：上記期間での妊娠届の申請総数①226件/②248件/③194件を分母、うち電子申請数①216件/②240件/③187件を分子として算出

【電子申請の実施による効果と業務改善】調査期間：2023年6月～2025年12月

- 面談内容を事前に確認し、内容に応じた準備が可能となることで、面談の質が向上
- 健康管理システムへ入力する妊婦問診票のデータが自動生成され、妊娠届1件につき用紙2枚分のデータ入力業務を削減

調査対象・件数：上記期間での『さぼ UTO』からの合計妊娠届出数 643 件

3. 母子モ株式会社について

- ・代表者：代表取締役 荻田 貴光
- ・所在地：東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー35階
- ・事業内容：ヘルスケアに関するコンテンツ配信事業

※1 『母子モ 子育て DX』: 自治体の子育て関連事業のオンライン化を支援するサービス <https://www.mchh.jp/boshimo-kosodatedx>

※2 『母子モ』: 母子健康手帳の記録から地域の情報までを携帯で簡単にサポートする母子手帳アプリ <https://www.mchh.jp>

※ 『子育て DX』は母子モ株式会社の登録商標です。

報道関係の方からのお問い合わせ先

熊本県宇土市 健康づくり課母子保健係 TEL:0964-27-4428 E-mail:kenkou02@city.uto.lg.jp

株式会社エムティーアイ 広報部 母子モ広報担当 TEL:03-5333-6755 E-mail:mtipr@mti.co.jp